

国総研資料第 1276 号『津波からの船舶緊急避難の円滑化のための回頭能力の検証と船速の分析』を刊行します！

津波発生時に船舶が港湾内で漂流した場合、他船との衝突や岸壁への乗り上げ等により港湾内での被害が増大する可能性があります。このため、地震後に津波来襲が予想される場合には、船舶の緊急避難が必要であり、船舶の緊急避難を円滑化する観点からの水域施設（航路・泊地）に関する検討が必要です。

本研究は、今後各地で実施される緊急避難円滑化のための取り組みの参考情報を提供することを目的に、操船シミュレーションを用いて大型船の回頭能力を検証した結果と、AIS（船舶自動識別装置）データを用いて東日本大震災時の船舶が緊急避難する際の港湾内船速を分析した結果を提示するものです。

<目次>

- 第1章 はじめに
- 第2章 本研究の背景と経緯
- 第3章 大型船の回頭能力に関する検証
- 第4章 東日本大震災時の船舶が緊急避難する際の港湾内船速に関する分析
- 第5章 まとめ

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL : <https://www.ysk.nilim.go.jp/kenkyuseika/pdf/ks1276.pdf>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部 港湾計画研究室

室長 安部 智久 (内線 3310)

TEL : 046-844-5027 FAX : 046-844-5027

E-mail : abe-m92y3@mlit.go.jp